

安全運転

ほっと NEWS
2011年1月号

今月のクイズ

高速道路の白い破線、Aの部分の長さは次のどれ？

- ① 10メートル
 - ② 20メートル
- (答えは裏面)



TOKIO MARINE
NICHIDO

高速道路を快適に走ろう

高速道路に ETC システムが導入されてから料金所をスムーズに通過できるようになりました。また ETC 割引などの効果もあり、車載器の設置件数が 3,300 万件を突破した結果、高速道路での ETC システムの利用率は約 86%になりました(国土交通省発表、平成 22 年 11 月現在)。さらに、平成 23 年 3 月 31 日まで一部区間の無料化社会実験が実施されています。

今月は、安全に高速道路を利用するための注意点や走行上のポイントを確認しましょう。

◆準備不足はトラブルのもと！

平成 21 年から平成 22 年にかけての年末年始の 6 日間に起きた高速道路上のトラブルで、(社)日本自動車連盟 (JAF) のロードサービスが出動した件数は 2,618 件あり、主な救援依頼内容は右下の表のとおり上位 5 位のうち、2 位の事故以外はタイヤのパンクや燃料切れなど準備不足のまま高速道路を走行したことによるトラブルとみられます。高速道路を走行する前に、ガソリンスタンド等に寄り、準備・点検をしましょう。

● 点検項目 ●

- 1. ガソリンは十分補充されていますか？
- 2. タイヤの空気圧・溝・スペアタイヤの準備・点検は済んでいますか？
- 3. バッテリーやオイルの点検はしていますか？
- 4. ETC カードを利用の場合は有効期限をチェックして、車載器に正しくセットしましたか？

「年末年始の JAF ロードサービス救援依頼内容」

☆=準備不足が原因と考えられているもの

☆ 1位	タイヤのパンク (パースト、エア圧不足含む)	584 件
2位	事故	373 件
☆ 3位	燃料切れ	300 件
☆ 4位	過放電バッテリー	166 件
☆ 5位	タイヤチェーン	136 件

(社)日本自動車連盟 (JAF)

「平成 21 年年末 22 年年始のロードサービス救援依頼内容(四輪・二輪)」
調査期間：平成 21 年 12 月 29 日(火)～平成 22 年 1 月 3 日(日)

◆いざ高速道路へ！

高速道路に進入してから本線に合流するまでには、以下の事項に注意しましょう。

料金所

ETC

- 時速 20km 以下で進入
前車が止まる可能性があります。
車間距離を取りましょう。
- 開閉バーが開いたら通過
開くタイミングが遅い場所があります。
注意しましょう。

一般

- 一旦停止
入口≫通行券を取る。
出口≫通行券を渡し料金を
支払う。

標識の確認

●正しく選ぶ

インターチェンジ付近で案内標識を見間違え、逆走して事故を起こすケースが増えています。

目的地方面をしっかりと確認し、本線へ進みましょう。

●間違えて進入した場合

そのまま進み次のインターチェンジに入りなおしましょう。

**高速道路では
バックやUターンは
絶対禁止です！**

本線に合流

●加速レーンで十分に加速

- 1. 合図：ウィンカーを点滅させる。
- 2. 確認：バックミラーと目視で本線の車を確認する。
- 3. 加速：加速レーンで十分に加速する。
- 4. 合流：ゆっくりとハンドルを切り本線に進入する。
- 5. 戻す：ウィンカーを戻す。



◆高速道路を快適に走行するためには？

高速道路での運転は緊張の連続です。サービスエリアやパーキングエリアなどで休憩を取り、リフレッシュしながら運転しましょう。

走行する車線

- **左側の走行車線を走りましょう**
通常は左側の車線を走り、前車を追い越すときには、右側の追い越し車線を走行しましょう。
- **路側帯は走行禁止です**
路側帯は故障車や緊急車両が通るためのものです。常に空けておきましょう。

天候やトンネル

- **天候に応じた運転をしましょう**
豪雨や強風のときはスピードを落としましょう。
- **トンネルではライトを点けましょう**
対向車への注意喚起のためや、急激に明るい場所から暗い場所へ移るときに目を周囲の光に徐々に慣らすために、トンネルに入る前にライトを点け、トンネルを出てからライトを消しましょう。

運転感覚と操作

- **車間距離を十分に取しましょう**
例えば、時速80kmなら約45m以上とるのがよいでしょう。目安として、前車が何かの標識を通過してから、2秒数え、自車が同じ標識を通過すれば安全な車間距離が取れているといえます。
- **スピード感覚のズレに注意しましょう**
視界が広く、すべての車が一定方向に進むので、実際の速度よりも遅く感じ、スピードを上げ過ぎる傾向があります。
- **脇見運転に注意しましょう**
一般道路と違いかなりのスピードが出ているので、景色を見たり、エアコンやオーディオの調整で目を離れたことが原因で事故に遭う危険性があります。平成21年中の警察庁データでは、高速道路において前方不注視による事故がトップで全事故件数の約43.7%を占めています。

故障したら **まず落ち着いて！**

- **次の手順で救援を呼びましょう**
 1. 自車を路側帯に移動させ停車します。
 2. ハザードランプを点滅させます。
 3. 停止表示器材や発炎筒を後方から来る車両が見える所に置きます。
 4. 非常電話などで交通管制室や、ロードサービスに連絡を取ります。
 5. 連絡を取った後は、車に残らずにガードレールの外側など安全な場所に避難します。
(追突される危険性があります。)



◆高速道路を降りるときの注意



目的地の案内標識が見えたら、出口につながる車線へ移動し減速レーンに入ります。スピード感覚が鈍っていますので、料金所で一時停止できるように、減速レーンではスピードを十分に落とす必要があります。減速レーンは下り坂が多く、スピードが落ちにくいので、速度計を確認するとよいでしょう。

一般道路へ出た後も、スピードを出し過ぎてしまうことがありますので注意しましょう。

事前に準備・点検を行い、高速道路での安全で快適な運転を心がけましょう。

今月のクイズの答え

② 20メートル

ご用命・ご相談は・・・

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課